

大栄西瓜販売対策会議

令和4年度の大栄西瓜販売対策会議の開催、おめでとうございます。

日頃は、大栄西瓜協議会のみなさん、鳥取県、JA、市場のみなさまには北栄町農業の発展のため、ご尽力をいただき、感謝申し上げます。

今年は、生産者みなさんのご努力はもちろんのこと、5月ごろの昼と夜の寒暖差が大きい日が多くあり、周囲まで甘いスイカとなり、スイカにとっては良い環境で育ったと思います。5月30日の初競りでは、1玉10万円というご祝儀もありました。例年の大雨等の被害もなく、生産者及び関係者のみなさまのおかげで、終了まで、好調を維持され、目標を達成されたと思います。販売金額では、21年ぶりに22億円を突破し、4年連続で20億円を超えたということになりました。

町としましても、大栄西瓜のPR動画やシール作製、そして久しぶりに私も参加しましたが、大阪や広島での販売促進に行かせていただき、あらためて、大栄西瓜の素晴らしさを実感したところです。

大栄西瓜は、北栄町の特産品、日本一のスイカとして、誰に送っても喜ばれます。自信を持って販売できます。ちなみに今年のふるさと納税で寄付をいただいた返戻品として、JAさんの取り扱いだけで大栄西瓜が650玉、ドバイの太陽が95玉、全国のみなさんに大変満足をいただいているところです。

しかしながら、栽培面積・農家の減少、生産者の高齢化や担い手不足、有害鳥獣による被害など多くの課題もあります。これらの課題に対し、町としましても、活力ある産地づくりや担い手の育成・確保など持続して活躍できる産地づくりにおいて関係団体と連携しながら、今後も出来る限りの支援等を継続してまいります。

また、協議会自ら、新たな担い手確保策に積極的な取り組みとして、新規就農サポート部による対応や8月に起工式を執り行いましたが、大栄西瓜選果場の設備の機能向上により、来年度以降も大きな期待がされるものであります。

本日の会で良かったところ、悪かったところなどチェックしていただき、来年度に備えていただけたらと思います。

本日の会が有意義な会となりますことを祈念し、お祝いのあいさつとさせていただきます。

令和4年10月4日
北栄町長 手嶋俊樹

